

希望 21

ありふれたことだけど
かけがえのない
希望がここにある

People's Hope for 21 century

平和・自治・共生

No.50

1999年11月30日発行

1部 200円 年間購読 3000円

神奈川県相模原市上鶴間2973-3-110

TEL & FAX 042-740-4794

E-mail jah03412@nifty.ne.jp

郵便振替：00100-1-97125 希望21



**経済成長主義と決別し、
「希望の21世紀」と呼べる社会を創り出そう!**

山田洋一 (希望21・尼崎)

「私2年間で(面接)100社位うけましたね。

内定をもらった会社は、インチキ商法、請け負い業務(マルなげ)、歩合給ノルマきつい会社、etc. そんなのバツカ。。偶然〇〇新聞でみつけた今の会社(まともな所)に入社できました。2年間本当にきつかった。……(30歳・男)」

インターネットHP「失業者友の会」への書き込みです。七月に戦後最悪を記録した失業率は、収まる気配もなく、このまま高止まりを予想する専門家は多くいます。一方、新卒者の就職内定率も過去最低となり(大卒63.6%高卒41.2%)、就職浪人は30万人を超えているとされています。総務庁が発表した九月の労働力調査によると、完全失業率は、4.6%＝317万人(近畿では5.9%)、リストラや倒産によって職を失った非自発的離職者は、98万人となっています。

7月以降、完全失業率は若干好転していますが、雇用情勢全般が好転しているわけでは決してありません。完全失業率の好転は、女性のパート労働が大幅に増加したことが主な原因であり、常用雇用は前年同月比11万人減と21カ月連続してマイナスとなっているのです。

しかも、日本の「完全失業率」が実態とかけ離れているとの指摘は以前からなされてきました。なぜなら、総務庁の就業構造基本調査で、「無業者」とされた人のうち、就業希望者が950万人を超えており、「完全失業者」の3倍近くに達しています。また、日本では調査月の最終週に1時間働いただけで「就業者」とされるのに対して、例えばフランスでは月に78時間以上働かないと「失業者」とされます。

したがって、日本の失業率の実態は、ヨーロッパ並＝10%を超えているのです。

21世紀は大失業時代として幕を開ける

特に、中高年の長期失業が深刻です。職安に2年通い続けるKさんは、「今年に入って求職状況は一段と悪くなった。最近応募した会社で一人の求人枠に対し85人が殺到した」と、語っています。はたしてこの状態が、改善される可能性はあるのでしょうか？

ニッサンが、工場閉鎖を含む大リストラ計画を発表して、大きな衝撃を与えました。他にもNECが、3年間で1万5千人、ソニーが1万4千5百人、などなど。大企業規模を含むリストラの嵐です。政府も「過剰設備の廃棄」推進のため、「法制、税制、企業会計などあらゆる面で支援していく」(宮沢蔵相)と、首切り積極支援を表明し、準備を進めています。

経済企画庁は、国内には約86兆円の需給ギャップがあると試算しています。日本のGDPが約5百兆円。86兆円分(17%)の生産設備を今後廃棄していくとなると、どれほどの失業者が上積みされることになるのでしょうか？

市場は、首切りを求める

この原稿を書いている11月19日、東証株価は、2年3カ月ぶりの高値＝18,800円を記録しました。大企業のリストラ計画発表を前後して日経平均は上昇を始めました。モルガンスタンレー証券日本株ストラテジスト＝アレクサンダー・キンモントは、「事業活動再編(リストラ)による財務効率改善の果実は、株主に帰属するのが投資家の期待するところであり、それが株価上昇の原動力となる」と語っています。市場はリストラを求め、その果実を全て資本家へ環流させよと要求して



いるのです。

資本主義は、社会主義への対抗からケインズ主義を生み出し、市場の暴走を国家がコントロールする「術」を生み出してきました。しかし、社会主義国家の崩壊と共に、国家の箍(タガ)＝規制を外し、再びむき出しの市場主義が世界を覆っています。21世紀は、この市場の暴走のなかで幕を開け、それは大失業時代として我々を襲ってくるのです。

小淵政権の「緊急雇用・産業競争力強化対策」

6月11日に発表された上記「対策」は、リストラ奨励・強化策に他なりません。産業競争力強化対策としての①銀行への60兆円税金投入を通じたバブルの後始末(ゼネコンなどの借金棒引き)、②過剰設備処理のための税制上の優遇、③大量首切り・大幅賃下げをし易くするための法的整備等に比べ、雇用対策は、あまりに貧困で、現実味に欠けています。

7月の第一次補正予算では、「緊急雇用対策」として5,400億円が組み込まれただけです。また、「70万人雇用創出」と謳ってはいますが、成長産業とされている情報通信分野にしても、国際的な競争が最も激しい分野であり、厳しいコストダウンが要求されるため新たな雇用創出効果は乏しいと考えられます。むしろ、新規投資は省力化に向けられ、実際NTT・NECは、大リストラ計画を発表しているのです。



いかに生きるか

大失業時代をいかに生きるか？それには3つの領域々々での取り組みが考えられます。それは、個人的な領域、社会的な領域、そして国家的な領域です。社会的領域での解決とは、「ワークシェアリング」の考え方に代表されます。大量の失業者と一方での超過密労働という歪みを是正し、仕事を分け合うことで、失業を減らすという道です。フランスでは週35時間労働に移行して雇用を増大させることを政府と議会で決定しましたし、「リストラ先進国」であるアメリカでは、NPOが失業者の大きな受け皿となっています。

個人的な領域での取り組みとして、私は「ダメ連」的生き方に関心を持っています。彼らは、決して「怠惰な生き方」に開き直っているわけではありません。彼らが「人格的搾取」と呼ぶ過酷で味気ない賃労働を拒否し、より少なく働き、少ない消費でいかに豊かに生きるかを求めながら、様々な取り組みを行っています。

また、就職を希望しない大学生は、28.6%にのぼっています。就職難が基本的要因であるとしても、金を稼ぐことと自分らしく生きることを分けて考えず生き方と重なるところに職場を求めているのです。賃金の高さよりも労働の目的・意味に重きをおこうとする点で、私は直感的に「賃労働からの解放」を求める個人的な取り組みではないか、と勝手に解釈しています。

国家的領域での解決法の提示は私の力量にあまりありません。

ただ、経済成長主義ときっぱり決別することが出発になると思っています。経済成長と人間の幸福とは実は無関係です。日本は、戦後経済成長路線のもと確かに金持ちになりました。しかし、その何倍かの貧困と不幸を日本と世界にバラ撒いたのです。今、その貧困からの逆襲に備え、武装して身を守ろうとしているのです。

チャンス!?

「東京管理職ユニオン」の設楽清嗣さんは、次のように語っています。「仮に国内で景気が回復しても企業はリストラを進め、失業者の増大は続く。労働者・サラリーマンが終身雇用・年功序列システムという幻想にしがみつくことで生活向上を考え、会社のために一生懸命働くという生活スタイルはもはや通用しない。……逆にこれをチャンスと捉えて会社に依存しない生き方、自分自身で生活向上や生き方を考えたほうがいい」

実績があるだけに説得力があります。長くなってしまいましたが、もう1つだけ引用を。

管理職ユニオン(関西)呼びかけ

私たちは、あなたを歓迎する。それは、あなたが今回の会社の仕打ちに対して、不満を持ち我慢ができなかったからだ。

私たちはあなたを歓迎する。

歓迎するには理由がある。まず、あなたが会社への抗議の姿勢を示しているからだ。私たちはあなたが、配転、出向、降格、退職勧告、解雇のいずれの仕打ちを受けたのかを、知らない。しかし、会社の仕打ちを不合理だと感じ、このまま唯々諾々と引き下がれないと思っていることに、共感する。

歓迎するもう一つの理由がある。

今回の会社の仕打ちが、あなた自らに「雇われることの意味」を問い直させるきっかけを与えてくれたからだ。あなたは、これまで役職や会社の看板のみで仕事をしてこなかったらうか？

今受けているのと同様の仕打ちを、他人にしてこなかったらうか？

今回の経験で、あなたの何かが根本的に変化したはずである。あなたは、現在苦悩と混乱の中にいる。しかし、カオス(混沌)の中にこそ真の再生がある。人生はしょせん憎み、憎まれる関係の中にしかない。いやな人間を排除するのではなく、いやな人たちに嫌がられながら生きていく他ないのである。そして、そう知ったとき、人に対する思いやりとやさしさが湧いてくる。

今、「会社人間」の死を経験し、再生のきっかけを与えられたあなたを、

私たちは、歓迎する。



最後に

読者の皆さんは、政府セクター・企業セクターではない市民セクターで働いている人が比較的多いように思います。賃金は安いけれど、仕事に意義を見いだせる職場です。その意味ではトレンドリーな生き方といえます。しかし、私たちの周りには、失業者だけでなくリストラの恐怖のなかで膨大な人々が、生活不安におびえ生きる指針を見失いそうになりながら21世紀を迎えようとしています。これら多くの人達とまず接点を作り、変わり合いながら、心から「希望の21世紀」と呼べる社会を創り出す仕事に向けて、共に。

今、この人に聞きたい!!

八木 修さん 大阪府豊能郡能勢町町議会議員

「ダイオキシンの勝った町＝能勢を目指して」

「豊能美化センター」(以下「美化センター」)は大阪府豊能郡能勢町(人口15,000人)と豊能町(同27,000人)のごみ処理するために1988年から稼働し始めました。1997年3月の町議会で、美化センターの焼却炉改修予算が15億6,000万円も計上されました。1988年には総工費11億円で建設されていますが、なぜ10年もたないうちに15億もの改修費用がかかるのか、何かおかしいのではないかと議会で追及していましたが改修予算は承認されてしまいました。

その年の6月に美化センターから高濃度のダイオキシンが排出されたことがマスコミに報道され、能勢町のダイオキシン汚染問題が発覚しました。焼却場を管理する施設組合は1月と5月にもダイオキシン濃度を測定し、厚生省基準の2倍以上の濃度に達しているのがわかっていながら厚生省に対して報告を怠っていたのです。マスコミ報道があったのが1997年6月8日ですが、その2日後の6月10日には焼却炉の運転は休止になりました。その後、運転は再開されておらず廃炉になりました。廃炉にはなったけれども施設周辺の土壌は高濃度に汚染されたままです。

欠陥炉なのはわかっていたはず!

「美化センターの焼却炉は欠陥炉ではないのか?」と追及しはじめたのは、厚生省が全国のごみ焼却場のダイオキシン排出濃度を発表したとき、全国ワースト1だった兵庫県宍粟郡の焼却施設と美化センターの焼却施設が同じメーカーの三井造船であることを知ったことがきっかけです。その後、三井造船の納入実績をもとに全国の自治体から焼却施設のパンフレットを取り寄せました。そこで三井造船がある時期に建設した5施設(宍粟郡、美化センターも含む)のダイオキシン排出濃度が飛び抜けて高いことがわかりました。パンフレットを見比べてみると、この5施設はどれも「流動床・炉頂型ガス冷却炉・電気集塵機」であることがわかりました。5施設以降は形式を変更していて濃度は低くなっています。三井造船は欠陥炉と知りながら、ダイオキシン対策を放置していたのです。それだけではなく、ダイオキシン濃度測定の際には三井造船がアルバイトを雇ってごみの中から塩ビ等を分別するなどの偽装工作をお



八木修能勢町議会議員

こなっていました。焼却施設の運転は能勢・豊能両町の職員がおこなっているわけではなく、三井造船の子会社が委託を受け、そこからまた下請け会社に委託していました。ですから行政もまったくチェック機能を果たさず、三井造船の言いなりになっていたと言えます。行政は三井造船の偽装工作を容認してきましたが、住民の不安を払拭させたいと土壌・水質などの調査をおこなうのですが、すごい数値ばかりで98年10月には廃炉を決定しました。普通考えられない高濃度のダイオキシンが排出されたのは、汚染された処理水を再度使用して高濃度になったのが(完全クローズド排水システムといいながら)水蒸気になって周辺に噴き出していたことにあります。焼却炉から遠くへ拡散せずに周辺が汚染されたのです。

私たちは欠陥炉の改修は三井造船にやらせるべきで、住民の税金で行うべきでないとして97年11月に住民監査請求をおこないました。却下されたのち工事費用の予算執行差し止め請求訴訟に展開していきます。

公害調停への流れ

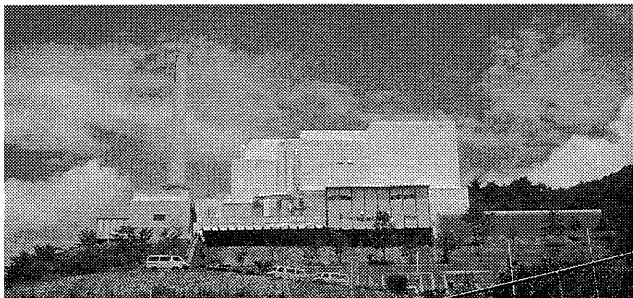
97年12月の調査結果が1998年4月に公表され高濃度汚染が明らかになってからは、住民が学習会などを重ね7月に公害紛争処理法に基づく公害調停に取り組むことになりました。「豊能郡ダイオキシン公害調停をすすめる会」をつくりました。裁判という

手法で過去の責任を追求し白黒をつけるのではなく、これから先におこる問題の解決のため、当事者が同じテーブルについて話し合いができるようにしたのです。住民は被害者でもあり加害者でもあるのだから同じテーブルで議論しなければということを経験しています。本来公害調停というのはそこに住んでいる人たちが加害者に対して調停を申し込むのですが、それでは住民全部が公害調停の対象にはなりません。そこで、ごみの減量化や施設改造計画中止などを項目に入れることによって豊能郡民全員を申請の対象にしたのが注目されたところの一つです。

能勢町をダイオキシンに勝った町に！

調停で改善されたこともあります。汚染地域の対策をどうするかという問題が残っています。汚染された土壌や施設内の汚染物をどう処理するかということです。処分しないことには風評被害もなかなかなくなりません。ところが、行政が勝手に環境庁が行う実験実証(再処理)プラントの建設地に立候補してしまいました。調停をやっているのに住民には何の相談もありませんでした。汚染された場所にもう一回住民の不安をあおるような施設を建てるのが良いのかどうか。絶対安全と言うのなら、大阪府庁や永田町にでもつくれば良いし、三井造船が持って帰れば良いと思います。動かしたら危ないというのなら、核廃棄物でも動かしているのにそんなに危ないものなにかと。何の議論もないままに再処理プラントをつくるのは反対です。恒久的な施設をつくれれば能勢町がダイオキシンに汚染された町だけではなくダイオキシンを処理する町になってしまいます。それが町のために良いのか、風評被害にたちむかっている住民へのいじめではないのかと思います。

再処理プラントを能勢町につくれば、もしかしたら日本全国のダイオキシン汚染土壌がくることも考えられます。先日、香川県議の方から伺ったのですが、香川県豊島では(豊島の処理場で)10年で豊島の産廃は焼却できるが、施設の寿命が20年だからあとの10年は県内のごみを持ってくると県側は言っているそうです。施設をこわすのがもったいないかと……。いったん作ってしまうと後から既成事実で何とでも変えられる。今はやらないと言っているけれど信じていいのか、市民はこれまでずっと騙され続



けてきたのではという思いがあります。せっかくいい施設できたから焼かせてもらおうかと言われても不思議ではありません。ここを歯止めにしなればと思いますが、処理はしなければならないのです。裁判・公害調停は一つの手法で最後は住民がどう動くかというのが大切なのですが、なかなか町内が一つにまとまらないのが現状です。

ダイオキシンに勝つために

焼却炉が止まった時、能勢町周辺地域にごみももっと溜まればよかったのではないかと今になって思います。当時、すぐに他の自治体が収集してくれたおかげで誰も困らなかったのですが、ごみが溜まって臭かったりカラスが来たりする状況になれば、住民がもっと考えるきっかけになったと思うんです。

ごみ問題は自分にかえてくる問題です。行政は出口対策ばかりで入り口で解決する手法が遅れています。出たものをどうするかばかりで、出る前にどうしようかという発想がない。入り口の問題についても住民段階で提起が必要です。出口対策で数値がきびしくなると喜ぶのは結局業界なんです。それはより性能の良い焼却施設をつくることになるからです。

ですが三井造船には「出したものは責任取れ」と、とことん叩いて企業責任を追究していきます。これははっきりさせておかないといけないのです。

ダイオキシン問題で能勢町の(濃度数値)基準は全国の基準になります。中途半端に認めて後悔しないようにしたいです。行政を変えるのは住民の力ですが、行政ができないなら三井造船にやらせてでも、後に続く人にキチンとできるように素地はつくるつもりです。同時に入り口論の問題ももっと議論したいと思っています。この問題から何か学ぶものがなければ、痛手ばかり受けてたまったものではありません。私たちは「ダイオキシンに勝った町」をスローガンにして運動をすすめています。この被害をプラスにかえたい。好きなだけ叩かれて何も残らなかったら、勝った町ではなく処理する町になったらそれこそ弱いものいじめです。住民がこれだけ変わって、ダイオキシンを克服して新しい町を作ったとか、ライフスタイルを変えたというのを全国に示すのが一番良い形です。そういう住民の思いを無視して「全国に誇るごみ処理場をつくる」なんてとんでもないことと思っています。

豊能郡ダイオキシン公害調停をすすめる会に支援を！

連絡先：〒563-0362 大阪府豊能郡能勢町森上155-9
fax.0727-34-3516
<http://www.kita-osaka.co.jp/nosedioxin/>
カンパ先：豊能郡ダイオキシン公害調停をすすめる会
郵便振替00900-2-86578

未来はみんなで作り隊①地域レポート

志自岐 亜都子(未来はみんなで作り隊)

御存じのように私達「未来」のメンバーはそれぞれが独自の活動に入っています。そこで、各自がどんな活動をしているのか、レポートをお送りします。

「街づくりかまがや」 発行実現に向けて準備中!!

篠崎史範

当選後、3回目の議会である12月議会が12月2日より始まる。

一般質問は、6月議会では「公共下水道」、9月議会では「都市計画」を中心に取上げた。今回は、「情報公開」と「一部事務組合である環境衛生組合」について取り上げる予定。

10月1日より、鎌ヶ谷市情報公開条例が施行され、1ヶ月間で6件ほどの申請があった。今後、私自身も大いに利用していきたい。

9月1日より、一緒に会派を組んでいる社民党の議員と共同で、事務所(tel:047-442-5168)を借りた。

街づくりの情報誌「街づくりかまがや」を出そうと準備しているが、なかなか実現せず。今月中にはめどをつけ、来月からは必ず発行したい。

清水の舞台から飛び降りて、リソグラフを95万円＋税で購入。早く来い来い期末手当。

「虹と緑の500人リスト」については、11月7日の関東ブロックの政策研究会、11月13日の公共事業・財政プロジェクト会議に出席。関東ブロックの事務局長及び公共事業・財政プロジェクトの副座長を担っている。

11月13日、大阪市議補選(生野選挙区)に立候補している長崎由美子さん(社民党公認)の選挙応援。戸田さんと二人で、ピラ播きしながら演説。在日外国人が集まる商店街を初めて通る。

ヒドイ法案にピンポン球投票 計画中

小島政男&花崎晶

同じ「未来」のメンバーの花崎さんと一緒に地域(杉並)の仲間と組んで「145夜の会」なる集まりを作っています。そう、今年の145通常国会で通ったヒドイ法案をセットで反対していこうという会です。

来年、春に何か町中でパフォーマンスしようという計画を練っているところですが、とりあえず年内にひとつということで12月23日に荻窪駅前でピンポン球投票とリレートークを組み合わせてやることにしました。

どの法律に一番「異義あり」のピンポン球が集まるか、今から楽しみです。

東チモール救援活動で 慌ただしい日々

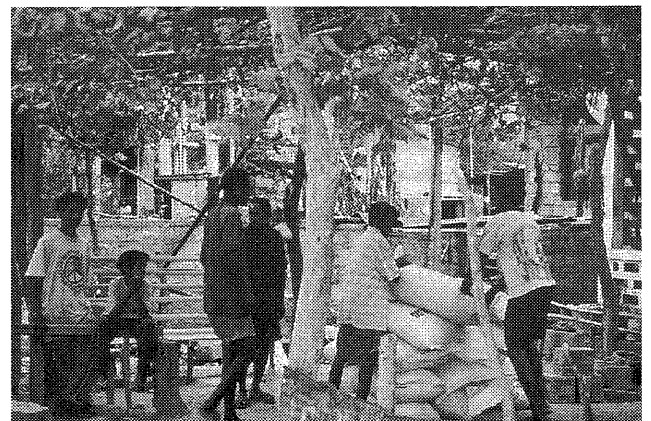
石田伸子

すでに御存じの方もあられるでしょうが、10月に3週間ほど東チモールに行ってきました。行く前も忙しかっただけれど、帰ってきてからも慌ただしい日々が続いています。やっと取材は一段落しましたが、報告会、原稿書きに加えて、本業の救援活動に追われています。救援物資の暢達、発送をしながら、引き継いで東チモールに滞在しているメンバーとの打ち合わせが入ってきます。

東チモールの報告です。

さて、車を増強すると言って久しくなりましたが、ようやく、先週土曜日、最後の1台が決まりました。計、1tトラック2台、2tトラック1台を、26日、ダーウィンに向けて送りだします。船旅は長いので、到着は12月中旬ころとなります。

現地、東ティモールでは、UNICEFの管轄する教育のプロジェクトも動き出そうとしています。車が増えれば、かなりアクティブに動けますので、学校給食用の米や、教材などの配送を担うことも考えていきます。学校は地域のコミュニティの中心なので、子どもを通して家族の状況も把握できますし、食の足りない子どもたちが栄養を補給することもできます。



東ティモール市民平和救援プロジェクトというのは、長い名前ですが、「PPRP=パッパラパー」と覚えるといいのだと松野明久さんからの貴重な提案をいただきました。名前に愛着がわいてきますねえ。

12月16~17日、世銀の東ティモール支援国会議が日本で行なわれます。先日、東ティモールで活動しているNGOと懇談したいと言うことで世銀より連絡があり



急きよ夜、ローランド氏という世銀東ティモールの担当者と会いました。

会議にはNGOのオブザーバー参加はあるということなど、分かりました。

そこで、現在東ティモールで活動しているNGOを中心に、国際的なNGOとして意見を一本化して、影響力のある主張にしていく方向で動いていきたいと考えています。CNRTの代表も参加する予定だと言うので、Xananaかどうかというのは分かりませんが、翌日18日に市民集会できたらと思っています。また具体的なこと、逐次お知らせします。

★西ティモールに自衛隊機はいらない! 抗議行動の報告:

23日、10時20分頃から10人(PPRPから2人)が、首相官邸前にて、約10分間、看板や横断幕を広げて抗議行動をしました。すぐに、警察官に囲まれ、押し問答の末「警告」を出され終了。

PPRPからは、毎週、事務局を手伝ってくれる朝菜さんが書いてくれた、ワニの背中に平和な世界を描いた、あたたかい雰囲気の中断幕を持参し好評でした。でも、警察官とおしくらまんじゅうになったので、くちゃくちゃになりました。

また、25日(木)は、国際平和協力(PKO)本部と今回の派遣についての話し合い(質問状提出済み)を行ないます。また、報告いたします。

詳しい報告は、次号の「オルタ」やパルクのホームページ(<http://iti.jca.ax.apc.org/parc/>)をご覧ください。

東ティモール市民平和救援プロジェクト

HP: <parc@jca.apc.org>
〒101-0052 千代田区神田小川町2-1 檜ビル3F
アジア太平洋資料センター (PARC=パルク) 内
tel.03-3291-5901 fax.03-3292-2437

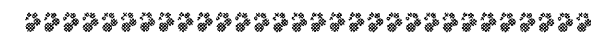
世田谷奮戦記(断片)

菅原ニヨキ和之

世田谷の秋も深まり、総選挙の日程も取り沙汰されながら、最も早い予想に合せて、活動しなければなら

ないので日々、時間に追われる毎日です。その中でも、10月~11月といくつかの催しに取組みました。一つには、世田谷で24年も続いている、市民運動の祭典ともいえる、「雑居まつり」これは、10月10日に毎年行われるのですが、単なるフリーマーケットでは有りません。5月から、実行委員会が立ちあげられ、毎月2回ほどの相談会を通じて、丁寧につくられるのです。1スペースいくらで、その日だけバイバイというのではない。だから大変ですけど、それだけ意味合いが共有できるのです。またこのまつりは、いくつかの「広場」が集まって構成されているんですけど、「アジアアフリカのまち」とか「神戸ポチポチむら」とかね。私は「核と戦争と暮らしを考える広場」に「せたがや原水禁」と「ごえんの会」の2つで参加しました。当日の報告は別の機会に譲りますが、今回、この「広場」に集まった、有志団体で呼びかけて、11月6日には、「緊急集会・東海村臨界事故現地調査報告」を行なったんです。これも雑居まつり同様盛り上がりました。この集会の内容も「せたがや原水禁ニュース」に譲りますが、国政問題も地域で取組もうと、奮闘中です。ともあれ、永田町が急速に右傾化する中、対抗できるのはやっぱり地域ですね。

今は、3月に行う「北東アジア非核地帯構想」に関するシンポジウムに向けて、そして保坂展人さんの選挙に向けて、準備を重ねているところです。ぜひ、地域で共に!



社民党の立候補者さえいれば…… 志自岐亜都子

そろそろ、衆議院の解散が近付いてきました。私が住んでいる足立区では自民党、民主党、共産党の立候補がほぼ固まっています。ポスターも目に付くようになってきました。そんな時、知り合いの区議会議員(民主党)から、立候補者を揃えての合同演説会を開きたいという電話が入ってきました。私は2年程前に、この議員の会派(民主党、無所属、ネット)の人と一緒に区長選挙の演説会を企画した事があるので、もう一度、という訳なのです。

民主党の議員と一緒にこの演説会をやるのがよいのか、やるべきではないのか、ちょっと迷っています。ちなみに、足立区では社民党の立候補はありません。私は、足立区内で女性グループに参加しているものの、政治的なグループには加わっていません。やるとなれば、私ひとりでは難しいので、実際には議員さんに動いてもらう事になりそうだし、でもこんな事をやれば政治に関心を持っている人とつながることができる可能性もあるし。解散までまだ時間がありますが、今だから考えておきたいのです。ぜひ、御意見をお聞かせ下さい。

『私ならこうする！僕らのシャドーキャビネット』

★★★ 選挙は楽しい！投票率向上大作戦 ★★★

伊沢 祥 (希望21・町田)

自分の生活に関する事は、自分で決めたい。可能なら自分が議会で発言し、決定に関与したい。現実的にそれが可能か不可能かは別にして、今日の社会や政治に対し、意見を持っている人は少なくないと思う。しかし、不思議な事に自分の意見の代弁者を選ぶ選挙に、行く人は多いとは言えない。

選挙を棄権する理由として考えられる事は、『すでに予定がある』、『自分一人が投票しても、何も変わらない』、『自分一人が棄権しても、この国は大丈夫』、『選挙が盛り上がり欠ける』、『ろくな候補者がいない』等が考えられる。

だからといって棄権するという事は、自らの運命に白紙委任状を提出している事と同じではないだろうか。これでは益々一般国民と政治との乖離が増すだけでなく、一部の政治屋と利権受益者に政治と生活を壟断されるばかりである。

民主主義国家において、政治は『最大多数の、最大幸福』のために奉仕しなければならない。ここで言う『最大多数』とは国民生活者の事であり、その内容はサラリーマン、退職者、OL、主婦、学生の事である。これらの層の人達が投票所に行くようになれば、各政党も政治家もこの人達の要求を無視できなくなる。

投票率向上大作戦!!

それではこれらの人達は、どうしたら投票所に行くようになるのだろうか。方法は三つある。第一は今迄通りの啓蒙活動や投票時間の延長、あるいは同時選挙や統一選挙での盛り上げ。第二は罰金等を徴収する、制裁を課す方法。そして第三に何らかの特典を与える方法である。

どの方法もそれなりの論拠に基づいているのだが、私は第三の方法を提案したい。それは『選挙くじ』の導入である。選挙前に送られて来る選挙案内の葉書に、年賀状と同じ様な番号を印刷する。その葉書を投票所に持って行き、投票した証拠にスタンプを押してもらう。選挙後に抽選を行い、当選番号を発表する。当選者はスタンプの押された葉書を持って、銀行や郵便局に行き換金するのである。

当選金額の設定には二通りの考えがある。一

つは当選金額を押さえるかわりに、当選確率を上げる方法である。もう一つはその逆で、高額当選金額を用意するかわりに、当選確率を押さえる方法である。私は本来の目的からすると、前者の方が良いように思えるのだが、皆さんはどうお考えだろうか。

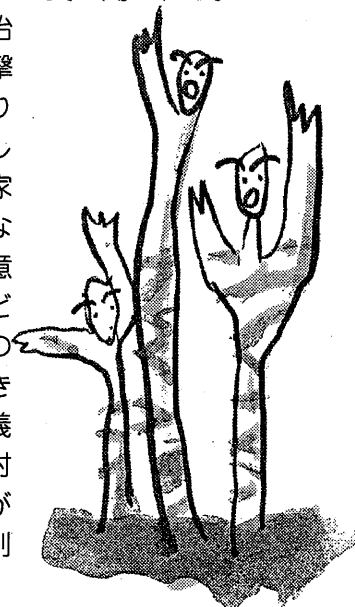
財源は国や地方自治体が行っている選挙広報費を当てる。例えば、今日メディアの発達により、候補者のポスターを貼るベニア板の掲示板など全く必要がない。いちいち立ち止まって見る人もいない、過去の遺物である。しかし、今現在も一回の選挙でこれに対して支払われる金額は、かなりのものである。仮に当選金額を五千円に設定しても宝くじより高い確率で当選する計算になる。

ベニア板の掲示板を設置する事で、利益を上げている業者と政治家との関係を断てるという副産物もある。もし問題があるとするなら、政治参加の意識を金によって触発させる事の倫理的問題である。この方法が国民のコンセンサスを得られるか、否かは議論されるべきであろう。広く皆さんのご意見を賜りたい。

政治に対する責任は、国民が負う

「政治を身近なものとして取り戻せ」とか、「国民の政治離れ」等と言う声が聞かれるようになって久しい。「政治が悪い」、「政治家と企業の癒着は許せない」と言う声も良く聞かれる。

しかし、単に政治家個人の腐敗を攻撃するだけで事は足りるのだろうか。むしろ、その様な政治家を選出したのは誰なのか。主権在民の意味と共に、自分はその様な努力をしたのかを考えて見るべきであろう。民主主義国家では、政治に対する責任は、国民が負う事を基本的原則としているのだから。





希望の機関誌もようやく50号を発行することができました。これも皆様のおかげです。

機関誌を出そうと話合った会議の翌日に阪神大地震が起きてしまいました。救援活動に神戸の希望の仲間が走り回り、一応の成果は上げましたが、希望としての活動を続けていくというのは体力的にも時間的にも難しくなっていました。これは、今までで一番残念な出来事です。

ところで「希望」っていったい何をする団体なの？という疑問がだされることがよくあります。希望の仲間たちの会議でも良く話題になります。今話題のライフスペースのグルという人は、「定説」という言葉をやたら使って、「だから 定説に従うのは当然」といっていますが、私たちは、平和な社会を共に作っていくためにどうしたらいいか、常に試行錯誤。議論沸騰！ひとりひとりが各々の経験や意見を交流し、共有しあっていこうとしています。

こんなふうにも書いてもやっぱり具体的ではないですね。

来年の1月には、ホームページを立ち上げる予定。一方通行ではなく読んだ人達といっぱい話ができればいいなとおもっています。(千)

私たちは、現在のモノ中心の社会を、人間が人間らしく生きることのできる社会へとつくり変えていくことをめざします。

人間らしい社会——人と人が平等に、ともに助け合って、人間が自然の一部としての本来の姿で生きることのできる社会——を、実現することこそが、人々の希望です。私たちはそのために、あらゆる領域で民主主義を徹底し、民主主義の実現をはばむものに対してたたかいます。

私たちは、世界に戦争と大国主義の不平等をもたらす憲法改悪を許しません。9条の理念の実態を日本から作っていくことによって世界の平和と民主主義の実現に貢献していきます。国と国とは対等平等の関係にあり、人間らしく生きることを豊かさの尺度に、人々の在り方を人々が決め、どこの誰でも本当に武力を必要としない国際社会の実現こそが、平和の実現です。

私たちは、地域から国の進路、世界の在り方を決定する政治的なる力をつくっていきます。そのために、私たちの意志、知恵や力を結集し、互いの経験に学び合い、信頼を築き合いながら、自治の実現をめざします。何かに頼ることなく、広範な人々とともに、変革の力をつくり、その統一を推進することを自らの役割とします。

世界の現実を変えること——それは私たち自身の在り方、運動の在り方を変えることなくしては実現できません。私たちは自らを変え、人と人との関係を変えあうなかで、現実を変革していきます。本音を出し合い、あらゆる困難をともに克服し、成功や喜びを、そして失敗や悲しみをも共有し、助け合ってたたかひの輪を広げ、その中に新しい社会を準備していきます。

人間らしい社会の実現をめざし、世界の平和と民主主義を求める人々とともに、希望の実現に向けて進みます。

1部 200円 定期購読をよろしくお願ひします！ 年間購読料：3,000円(送料込み)

郵便振替：00100-1-97125 『希望の21世紀』

購読申込 〒228-0802 相模原市上鶴間2973-3-110 TEL&FAX042-740-4794

月刊 『希望の21世紀』 ●50号 1999年11月30日

編集発行 ●「希望の21世紀」全国委員会

連絡先

●希望21・三多摩
東京都日野市多摩平6-20 公住219-5 三浦方 TEL&FAX 042-582-2407

●希望21・京都
京都市伏見区桃山南大島町1-4 桃山南団地39-304 吉田方 TEL&FAX 075-622-2580

●希望21・未来はみんなでつくり隊
東京都世田谷区上祖師谷6-29-1 みやび荘205号 菅原方 TEL&FAX 03-3305-0300

●希望21・門真
大阪府門真市北巢本町17-7 安井文化202 戸田方 TEL&FAX 0720-85-6491

●希望21・北摂
大阪府高槻市城北町2丁目14-27 自然館ルーム TEL0726-71-6640 FAX 0726-74-6975

●希望21・尼崎
兵庫県尼崎市田能3丁目22-1 田中寿夫方 TEL&FAX 06-6491-4107

